## 平成26年度 番組審議会報告

開催日	平成27年3月20日(木)		
番組審議委員	審議委員	小池生夫	(委員長)
出席者		石川次郎	(委員)
		大宅映子	(委員)
		小西克哉	(委員)
		吉永みち子	(委員)
決議事項			
審議対象	<cnnjが放送した下< th=""><th>記の番組について</th><th>&gt;</th></cnnjが放送した下<>	記の番組について	>
	(1)「ISIS: New Face of Terror」		
	(2)「On the Road: JAPAN」		
金镁瓶曲	(1)「ISIS:New Face of Terror」について		
審議概要	大変見応えがあった。若い女性、米国の志願兵、捕虜など色々な人が様々な形でISISに		
	大変元心とかめった。 石い女性、木国の心臓共、 捕虜など 日々な人が様々なが CISISIC かかわっている様子を生の取材で見られることに、 迫力を感じる。		
	CNNの「現場からの報道」へのこだわりが見える。		
	記者が体を張って取材しているので、怖さや迫力が違う。 人間中心で描かれている番組だ。ネットや参考書を見れば分かる内容の報道ではなくて、 実際に現場に行かなければ知り得ないジャーナリズムの精神が見える。 放送時間を長くして、より厚みのある番組にしてもらいたい内容だ。 (2)「On the Road:JAPAN」について		
	日本的なものを分かり	が、外国人はこの番組をどう見るのか興味を持った。	
	この番組を見て、外国 疑問を感じる。	人が日本を理解で	きるとは思えない。日本を紹介する内容としては
	機内で見られる日本紹介番組に似ている。日本の広報番組としては良い作りだ。 CNNのアジア報道のバランスが偏っているようにも思える。取材に答える中国人は 流暢な英語を話すが、日本人はそうではないことが多いと感じる。 同時通訳が聞きづらく、誰のコメントかがよくわからない。		
			K (1777-57-60 · 0
	その他について		
		いしの比較い辛早	六悔 がち ロキロナ
	委員のみなさんから、以上の指摘や意見交換がありました。 ロネケーブリテレビジョンでは、ころした意見な参考に、今後さらに想聴者ニーブに応え		
	日本ケーブルテレビジョンでは、こうした意見を参考に、今後さらに視聴者ニーズに応え、 番組内容を向上させるよう努力してまいります。		
	俄祖内谷を미上させる	)よフ労刀し(まいり	<b>より</b> 。